

令和 6 年 8 月 21 日

認知症をもつ患者に対するアドバンス・ケア・プランニングのコミュニケーション研修教材：医療者の自信向上に効果あり

<研究成果のポイント>

- 米国で開発された認知症をもつ患者に対するアドバンス・ケア・プランニングのコミュニケーションスキル研修を、日本のプライマリ・ケア医療者に提供した。
- 日本語に訳された教材や研修内容は好評で、実践に関する参加者の自信度が向上した。
- 教材について、日本の診療環境やコミュニケーションスタイルなど文化的な要素をさらに反映する必要があることが示唆された。

※本研究成果は、学術誌 Journal of the American Geriatrics Society オンライン版に 2024 年 6 月 19 日に公表されました。

<概要>

本学地域家庭医療学講座の井上真智子特任教授と、米国ノースカロライナ大学のクリスティン・キスラー准教授は、認知症をもつ患者に対するアドバンス・ケア・プランニングのコミュニケーションスキル研修を、日本のプライマリ・ケア医療者に提供し、その効果を検証しました。米国で開発された教材の日本語版は概ね好評で、日本における実践に役に立つ内容であると評価されました。

本研究は学術誌 Journal of the American Geriatrics Society オンライン版に 2024 年 6 月 19 日に掲載されました。

<研究の背景>

人生の最終段階で受きたい治療やケアについて、患者本人や家族、医療従事者を含めて話し合いをするプロセスは「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」と呼ばれ、高齢化が進む日本でも社会的な関心が高まっています。しかし、認知症を持つ患者の場合、本人の意向の確認をどのようにしたら良いかはあまり検討されていません。本研究では、米国ノースカロライナ大学のクリスティン・キスラー准教授のチームが開発した、認知症をもつ患者のための ACP コミュニケーションスキル研修教材の日本語版を制作し、国内 13 箇所の医療機関で医療者向けの研修を行いました。全会場ともキスラー准教授が日本語で研修を進行し、プログラムは認知症の診断と ACP のコミュニケーションに関するレクチャー、患者との会話実践例の動画視聴4種類(米国で作成された動画に日本語字幕表示)、ロールプレイ2種類を含む約3時間の内容でした。参加者は、研修の前後でアンケート調査を実施し、実践に対する自信度の変化や、教材の内容を評価しました。

<研究の成果>

研修は 2022 年 7~8 月、国内 13 箇所の医療機関で実施し、合計 171 名の医療従事者が参加しました。このうち 105 名で研修前後の調査結果を比較したところ、患者の意思決定能力の判断方法、ケアの目標設定のコミュニケーション、家族との話し合い方などすべての項目で参加者の自信は向上していました。多くの参加者は、研修教材は効果的だった(96.9%)、時間配分は適切だった(94.5%)、説明は明確だった(89.8%)などの項目に強く同意しました。一方で研修教材が日本の文化背景に適応していたかについては同意率が 73.6%とやや低く、日本の診療環境および患者や家族のコミュニケーションスタイルを反映した更なる改訂が必要なが示唆されました。

<今後の展開>

今回使用した ACP コミュニケーションスキル研修教材は、日本の医療者に対しても効果的であることがわかりました。その後、日本の文化背景を反映した動画を、井上真智子特任教授のチームで制作しました。キスラー准教授との共同研究は今後も継続する予定で、認知症をもつ方の意思決定支援への取り組みへと繋がることが期待されます。

<発表雑誌>

Journal of the American Geriatrics Society

(<https://agsjournals.onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/jgs.19040>)

<論文タイトル>

Pre-post-evaluation of a dementia-specific advance care planning toolkit for Japanese primary care clinicians

(日本のプライマリ・ケア医療者のための認知症に関するアドバンス・ケア・プランニング研修教材の前後評価)

<著者>

Christine E. Kistler, Machiko Inoue, Tomoko Matsui, Michiko Abe, Monique Le Donne, Ayano Kiyota, Feng-Chang Lin, Yumei Yang, Laura C. Hanson.

<研究グループ>

浜松医科大学 地域家庭医療学講座

<本件に関するお問い合わせ先>

浜松医科大学 地域家庭医療学講座 特任教授 井上真智子

E-mail : machiko@hama-med.ac.jp TEL : 053-435-2416

<報道に関するお問い合わせ先>

浜松医科大学 総務課広報室

TEL : 053-435-2151 FAX : 053-435-2112

E-mail : koho@hama-med.ac.jp